



平素より当院の運営につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

日頃は患者さんをご紹介いただきありがとうございます。4月から新体制となりました各科の新任医師よりごあいさつをさせていただきます。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



ごあいさつ

外科

牧野洋知

2024年4月1日から外科医長を拝命いたしました。牧野洋知です。

私は、2015年4月に藤沢市民病院に赴任し、今年で10年目になります。これまで、主に、食道・胃がんといった上部消化管悪性腫瘍、兎径ヘルニアの手術を中心とした診療に携わってきました。

外科は、救急外科、乳腺外科と協力し合いながら、大腸がん、乳がん、胃がんなどの悪性疾患から、胆石胆嚢炎、虫垂炎、兎径ヘルニアといった良性疾患、急性期疾患として緊急手術を要する、消化管穿孔、絞扼性腸閉塞、急性虫垂炎、急性胆嚢炎、外傷まで幅広い疾患領域に対応可能で診療しています。また、低侵襲手術として消化器悪性疾患手術、虫垂切除術、ヘルニア修復術、胆嚢摘出術などに腹腔鏡手術を積極的に施行し、さらに、ロボット支援下手術といった新規技術の導入も行い医療水準の向上に努めております。

これからも、外科スタッフ一丸となり、近年、急速に増加傾向にある高齢者の方や併存疾患を有する患者さんにも総合病院としての機能を発揮し、専門各診療科と連携し、また、当院の医療に関わる看護部、臨床検査室、放射線室、リハビリ室、薬局、栄養室、臨床工学室などのスタッフと共に協力し合いながら、市民の方々に安全・安心な医療を受けていただくために、頑張っております。

加えて、地域医療支援病院としての機能を果たし、近隣の各病院、かかりつけ医療機関との連携を取り、より充実した地域医療体制を構築するよう努めていく所存ですので、今後ともご支援ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



産婦人科

持丸綾

連携登録医の先生方におかれましては、日頃より産婦人科診療に格別のご支援・ご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

2024年4月から産婦人科の診療科部長を拝命しました持丸綾と申します。前任の佐治晴哉医師のもと2015年から6年間勤務したのち大和市立病院で3年勤務し、改めてこの藤沢の地へ戻ってまいりました。

現在、藤沢市民病院産婦人科は10名の常勤医師と当直・外来担当の非常勤医師で診療にあたっております。今年度は、日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医2名、日本周産期新生児医学会周産期専門医2名、日本女性医学会専門医1名、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医4名(腹腔鏡)、ロボット支援手術資格3名と周産期、腫瘍、内分泌の分野問わず対応できるスタッフがそろっております。特に、近年増加を実感している子宮体がんに関しては、地域の先生方の早期診断・ご紹介のお陰で、腹腔鏡下手術、ロボット支援手術の適応症例が増えており、腫瘍専門医による低侵襲手術が提供できております。

またゲノム医療に関しては、引き続き県立がんセンターの佐治医師が非常勤医師として診療にあたっておりますので、県立がんセンターとのやりとりもスムーズに行っております。

周産期医療に関しては、引き続きハイリスク症例の分娩受け入れと母体救命を主軸に、今後は、麻酔分娩の開始も前向きに検討中です。妊婦さんたちが安全に快適に出産ができるよう病院全体で取り組んでまいります。

コロナ禍で中断しておりました医療連携カンファレンスも再開できればと思っておりますので、今後とも変わらぬあたたかいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



呼吸器外科

安藤耕平

2024年4月から呼吸器外科部長を拝命しました安藤耕平と申します。私は2001年に横浜市立大学を卒業し、2003年に横浜市立大学外科治療学教室（旧第一外科）に入局しました。これまでに教室の関連病院である、横浜労災病院、神奈川県立循環器呼吸器病センター、横須賀共済病院などの病院で呼吸器外科診療にあたってまいりました。このたびご縁があり、藤沢市民病院に赴任することとなりました。外科治療学教室の教職員とともに、呼吸器外科診療の充実をはかっていく所存です。



呼吸器外科が対象とする疾患には、代表的なものに肺がん、中皮腫、気胸、膿胸、縦隔腫瘍などがあり、当院で一通りの疾患に対応することが可能です。ほとんどの手術を完全鏡視下の小さい創で行っていますが、拡大手術などで必要な時には開胸手術も行います。また症例によってはロボット支援下での手術をお勧めすることもあります。赴任してから7月までに、59症例の手術を行い、うち57例が完全鏡視下手術で、開胸手術に移行した症例は現在のところありません。患者さんからの評判も上々と自負しております。

手術だけの選択肢ではなく、患者さん一人一人の疾患や状態に合わせて最善の治療を提案するよう心がけており、呼吸器内科や放射線治療科など、他科との連携も密にとっています。呼吸器外科が対象とする疾患の患者さんがいらっしゃれば、お気軽にご紹介いただければと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

眼科

倉持雄一

2024年4月から眼科医長を拝命しました倉持雄一と申します。私は現在横浜市立大学眼科学教室に所属し、大学院にて臨床研究も行っております。これまで大学病院や関連病院で診療してまいりました。2016-2017年度は前任の井上克洋部長と共に当院に勤務し、この度ご縁があり再び赴任することとなりました。



当科は眼科全般に対応しておりますが、中でも白内障、網膜硝子体、緑内障、斜視、眼瞼下垂等の手術を主に行っております。自分の専門領域は白内障ですので、難症例の白内障も含めてご紹介いただくと幸いです。また、眼内レンズ固定術のテーマで横浜市立大学を中心に多施設共同研究も行っておりますので、水晶体または眼内レンズ偏位・脱臼・落下などの症例がありましたらご紹介の程宜しくお願いいたします。急性緑内障発作や網膜剥離、細菌性眼内炎等の急性期疾患も積極的に対応しておりますので、緊急を要する場合は御連絡いただければと思います。緊急を要する状況でなければ、手術時期や危険性をご本人・ご家族と十分検討し、治療を進めていきます。なお、硝子体注射は基本的に近隣にご紹介させていただいておりますのでご了承ください。

当院は急性期病院ですので、ご紹介いただいた患者さんは状態が落ち着き次第早めに逆紹介させていただきます。その後また何かありましたら再度ご紹介いただければ幸いです。皆様のご協力を得ながら、当科は地域の中核病院として最先端の医療を提供していく所存です。何卒宜しくお願いいたします。

皮膚科

新村智己

本年度4月から藤沢市民病院皮膚科医長として着任しました新村智己と申します。横浜市立大学皮膚科に所属し、これまで横浜市立市民病院、大学病院、藤沢市民病院で皮膚科医として勤務してまいりました。藤沢市民病院は2020～2021年の2年間勤務させていただき、佐川医長、向所部長の下で研鑽を積んでまいりました。



当科では、アトピー性皮膚炎や接触皮膚炎、薬疹等の皮膚アレルギー疾患、蜂窩織炎や帯状疱疹といった感染症、水疱症、膠原病、良性・悪性皮膚腫瘍等、皮膚に生じる疾患全般を診ています。Common diseaseを診ることも大事ですが、中核病院としての役割を果たすべく、必要に応じ皮膚生検、プリックテスト、パッチテスト、画像検査などの検査を行い、できるだけ早く診断、患者さんのニーズに応え治療加入が出来るよう努めてまいります。アトピー性皮膚炎、乾癬、蕁麻疹、円形脱毛症、壊疽性膿皮症、化膿性汗腺炎に対し、生物学的製剤などの治療薬の選択肢も増えています。当科では、生物学的製剤の導入も行っておりますので、生物学的製剤の追加治療が必要な場合はご紹介いただくと幸いです。

また、手術に関しても良性、悪性に関わらず当科で対応可能な症例は当科で行い、対応が困難な症例では、当院形成外科や大学病院と連携して治療を行っております。

ご紹介いただいた患者さんは当科での診断、治療介入をし、状態が落ち着いた場合は、近隣の先生方に逆紹介をさせていただきます。経過中に再燃などありましたら再度ご紹介いただければ幸いです。

近隣の先生方と連携を取りながら急性期病院、中核病院としての役割を果たしていきます。若輩者ではございますが、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願いいたします。